

みずほCustomer Desk Report 2019/06/12号(As of 2019/06/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.51 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.37	1.1318	122.66	1.2685	0.6962
SYD-NY High	108.80	1.1338	123.18	1.2732	0.6966
SYD-NY Low	108.35	1.1302	122.63	1.2671	0.6948
NY 5:00 PM	108.52	1.1326	122.91	1.2723	0.6961
NY DOW	26,048.51	▲ 14.17	日本2年債	-0.1900	1.00bp
NASDAQ	7,822.57	▲ 0.60	日本10年債	-0.1200	0.00bp
S&P	2,885.72	▲ 1.01	米国2年債	1.9287	2.20bp
日経平均	21,204.28	69.86	米国5年債	1.9147	▲0.17bp
TOPIX	1,561.32	8.38	米国10年債	2.1440	▲0.44bp
シカゴ日経先物	21,190	70	独10年債	-0.2335	▲1.35bp
ロンドンFT	7,398.45	22.91	英10年債	0.8570	1.80bp
DAX	12,155.81	110.43	豪10年債	1.4725	▲0.85bp
ハンセン指数	27,789.34	210.70	USDJPY 1M Vol	6.55	▲0.09%
上海総合	2,925.72	73.59	USDJPY 3M Vol	6.49	▲0.09%
NY金	1,331.20	1.90	USDJPY 6M Vol	6.80	▲0.02%
WTI	53.27	0.01	USDJPY 1M 25RR	-1.35	Yen Call Over
CRB指数	174.87	0.80	EURJPY 3M Vol	6.67	▲0.12%
ドルインデックス	96.69	▲0.07	EURJPY 6M Vol	7.13	▲0.04%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月11日	10:30	豪 NAB企業景況感	5月 1	-
	10:30	豪 NAB企業信頼感	5月 7	-
	17:30	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	4月 3.4%	3.2%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/1.8%	0.1%/2.0%

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月12日	09:30	豪 ウェストバンク消費者信頼感指数	6月 -	101.3
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	5月 2.7%/0.6%	2.5%/0.9%
	17:15	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	21:15	欧 ケーレECB専務理事 講演	-	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/1.9%	0.3%/2.0%

東京
東京時間のドル円は108.37レベルでオープン。日経平均株価が前日比マイナスで寄り付いたもののすくプラス圏まで浮上する動きとなったことや、仲値にかけては実需勢のドル買いが強まったこと等からドル円もじり高推移となり108.60近辺まで上昇。この水準から一段と上値を迫る展開とまではならなかったものの、上海株をはじめアジア株が全般的に堅調推移となる中でドル円も底堅い推移が継続。108.65レベルで海外へ渡った。(東京15:30)

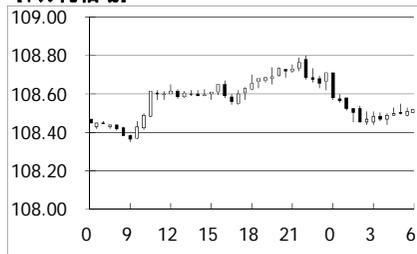
ロンドン
ロンドン市場のドル円は、108.65レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ株価が堅調推移となる中、小幅に上値を切り上げる展開となり、108.73レベルで海外へ渡った。ポンドドルは1.2681レベルでオープン。朝方は新規材料がない中、買いと売りが交錯していたが、英4月雇用統計が発表され、4月までの賃金の伸びが予想を上回ったことを受け、ポンド買いが優勢となり、1.2728まで上昇。その後、1.2700を挟んで推移し、結局1.2696レベルでNYへ渡った。(ロンドン-トルリ- 00531 444 179 マルヒル)

ニューヨーク
海外市場のドル円は108.73レベルでオープン。朝方はトランプ米大統領が「米政策金利はあまりにも高く、ばかげた量的引き締めに追い打ちをかけている」と述べたが、具体的な根拠は示されてなかったこともあり、ドル円の反応は限定的だった。海外時間の流れを引き継ぎ一時108.80まで上昇する局面もあったが、その後は米株の上げ幅縮小や米金利の低下に圧迫され、108円半ばまで反落。午後は株がマイナス圏に沈む動きを眺め、安値108.44をつける。終盤は安値圏で方向感の無い推移となり、108.52レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1310レベルでNYオープン。朝方はトランプ大統領がFRBの金融政策を批評したほか、「ユーロやその他の通貨は米ドルに対して下落誘導されており、米国はひどく不利な立場に置かれている」と述べており、ユーロドルは1.1325から1.1302のレンジで上下に振れた。その後、1.1310近辺でもみ合ったユーロドルは、午後に入ると米金利の低下を背景にドル売りが進み、1.1337まで上昇。買い一巡後、小幅値を戻し、1.1326レベルでクローズした。

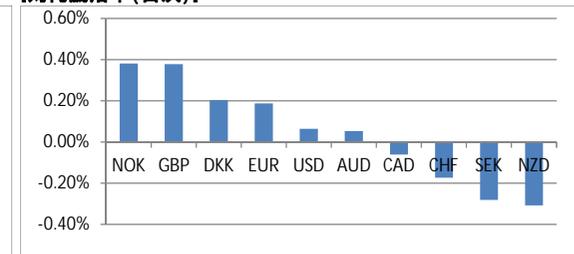
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.80-108.80	1.1250-1.1350	122.00-123.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上に行き来となる展開となった。前日に引き続き、米国によるメキシコへの関税付加の無期限延期や米国の利下げ観測からリスクセンチメントが良好な状態が維持される中、アジア時間から欧州時間にかけてのドル円相場は堅調に推移し、一時は約2週間ぶりの高値水準まで上昇。米国時間に入ると株高に巻き戻しの動きが見られたほか、この日行われた米3年債入札が良好な内容となる等、米債高、金利低下の動きにドル円も反落する展開に。本日のドル円相場は、前日欧州時間までのリスク資産の買戻しの動きに一服感が見られる中、やや上値の重い展開を予想する。中期的には、今月末に開催されるG20、また同時に開催されるか注目を集める米中首脳会談、米国による中国への第四弾追加関税付加の行方と不確定要素は多く、マーケット参加者も積極的にリスクを取りにくい地合とはなりにくいと思われ、ドル円相場も上値を押しさえられながら、ヘッドラインに振られやすい展開になるだろう。